

公的医療機関等 2025 プランについて（地域医療構想関係部分抜粋）

名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院																							
<p>【地域において今後担うべき役割】（P10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>多くの障害者に対して、障害者支援施設への移行による支援継続により、単なる在宅復帰に止まらず、退院患者の就労をも見据えた社会復帰への支援を行うため、一貫したリハビリテーションを提供する施設としての役割を果たしていく。</li> <li>5 疾病のうち、脳卒中、心筋梗塞等の心血管疾患に対する診療については、機能の回復、及び生活の場への復帰ができるよう、多職種による集中的、包括的な回復期リハビリテーション医療を提供していく。心血管疾患患者に対しては、再発予防に向けた多職種連携を促進していく。</li> <li>自域のみならず、愛知県内においても高次脳機能障害の確定診断ができる医療機関が少ないため、地域において確定診断ができる医療機関を増やす役割を果たしていく。</li> </ul>																							
<p>【今後持つべき病床機能】（P10）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療保険制度の動向等を見極めながらも、多くの方を社会復帰につなげる医療を提供するため、回復期機能を持つ一般病床としての運営を継続していく。</li> </ul>																							
<p>【今後の方針】（P11）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>現在 (平成28年度病床機能報告)</th> <th></th> <th>将来 (2025年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高度急性期</td> <td></td> <td rowspan="5" style="text-align: center;">→</td> <td></td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td style="text-align: center;">80床</td> <td style="text-align: center;">80床</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td style="text-align: center;">80床</td> <td style="text-align: center;">80床</td> </tr> </tbody> </table>					現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)	高度急性期		→		急性期			回復期	80床	80床	慢性期			(合計)	80床	80床
	現在 (平成28年度病床機能報告)		将来 (2025年度)																				
高度急性期		→																					
急性期																							
回復期	80床		80床																				
慢性期																							
(合計)	80床		80床																				
<p>【その他の数値目標】（P12）</p> <p>医療提供に関する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>病床稼働率：90%以上</li> <li>在宅復帰率：75%                     <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 障害者支援施設も含む</li> </ul> </li> </ul> <p>経営に関する項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>医業収益に占める人材育成にかかる費用（職員研修費等）の割合：1.5%</li> </ul>																							